

NEWS RELEASE**カーボンニュートラル社会の実現に向けて
海外工場に太陽光パネルを設置**

～ 2030年までに年間CO₂排出量を35%削減(2014年度比)～



海外生産工場(東莞友華汽車配件有限公司)に
設置された太陽光パネル

株式会社ヨコオ(本社:東京都千代田区、社長:徳間孝之)は、このたび、ヨコオグループの海外生産子会社である東莞友華汽車配件有限公司(中国広東省、以下中国工場)に、CO₂排出量削減を目的とした太陽光パネルを設置し、6月1日から本格稼働を開始します。

今回設置した太陽光パネルは、車載用アンテナなどを生産する中国工場の屋上に設置され、総面積7,000㎡、年間発電量は約170万kWhです。これは中国工場で消費する電力の約16%に相当し、年間1,084tのCO₂排出を削減できる計算になります。太陽光パネルの設置は、マザー工場である富岡工場(群馬県)、海外生産子会社のベトナム工場(ベトナムハナム省)に次ぐ3拠点目になります。

この他にも中国工場では、電力使用に伴って発生するCO₂を削減するプロジェクトチームを立ち上げ、毎月進捗を報告し、改善検討を行うなど、省エネ活動を積極的、かつ継続的に推進しています。主な取り組みは以下の通りです。

【中国工場で行っている省エネ活動】

- ・ 省エネ高効率タイプの冷媒採用による空調機の電力消費量削減
- ・ 空調設備用、電圧・電流安定装置導入による電力消費量削減
- ・ 電気自動車の採用
- ・ 消費電力が少なく、かつ長寿命タイプのLEDライトへの交換

2050年のカーボンニュートラル実現に向けて、ヨコオグループは気候変動対策を設定し強力に推進しています。2030年度に2014年度比で35%の自社工場、グループ子会社工場からのCO₂排出量を削減することを目標に具体的な施策を推進しています。

ヨコオはこれからも、事業活動が環境に与える影響を配慮し、豊かな自然に満ちた環境の実現に貢献してまいります。

新設された太陽光パネルの概要

設 置 場 所	東莞友華汽車配件有限公司(中国広東省)
設 置 面 積	7,000 m ²
年 間 予 測 発 電 量	約 1,700,000kWh
年 間 CO ₂ 排 出 削 減 量	約 1,084t

(注) ニュースリリースに記載されている内容は報道発表日時点の情報です。その後、予告なしに変更する可能性があります。あらかじめご了承ください。

◇ 本件に関するお問い合わせ先
株式会社ヨコオ 広報部 高橋
TEL: 03-3916-3179
携帯: 080-8042-3588
E-mail: ry-takahashi@jp.yokowo.com